

## 「豊かな教育を子どもたちに」

### I 研究内容

#### 1 研究内容の具体的内容与方法

(1) 甲州支会と山梨支会に分かれ、それぞれの課題について研究を進めた。

ア 甲州支会…『豊かな教育を子どもたちに』

○PDCA サイクルを取り入れた予算要求のあり方

○文書管理の方法と統一

予算執行計画をPとしたPDCAサイクルの検証・文書分類表と統一様式の検討。

イ 山梨支会…『豊かな教育を子どもたちに』

○前年度決算・当初予算推移の結果分析

○財務会計マニュアルの改訂

○市教委提出書式

本年度当初予算・前年度決算の分析、新システム導入に伴い「財務会計マニュアル」の改訂、「教育委員会関係提出書類一覧表」の作成。

(2) 『東山梨教育環境研究2014年度号』内の「教育行政及び教育環境の実態」を担当し、「教育財政の実態」と「教育環境の実態」についての調査を実施。昨年度更新した調査項目を継続調査することにより、教育環境実態の推移及び改善点等を示す。

### II 成果と課題

#### 1 成果

##### (1) 甲州支会

予算分析表の効果的な活用とPDCAサイクルの「着目点」の設定を行った。また、各校の予算執行計画や予算執行状況から、工夫や課題を共有することができた。2年間の研究を通じて、PDCAサイクルを効果的に用いることで、学校財務が“作業処理”から“より良くしていこう(改善)”に繋がることが確認された。文書管理は、文書分類表と様式の検討を行い、統一した文書管理に必要な条件整備を進めることができた。

##### (2) 山梨支会

継続研究である予算分析を実施し、各自が自校の予算を分析、成果・課題をまとめることができた。新財務会計システムが導入されたことにより、今までのマニュアルを見直し、改訂作業を行った。全員で見直すことにより、あらためて財務会計処理の注意事項等を再確認することができた。市教委提出書類については、小グループにわかれ関係規則規程との照らし合わせを行ったことにより、経験の浅い事務職員にとっては規則規程の見方等も学ぶことができた。具体的な期日等を入れた一覧表を作成することができた。

## 2 課題

### (1) 甲州支会

学校財務のPDCAサイクルは、『学校経営方針・学校教育目標を達成するために、予算をどのように企画していくか』『評価から見えてきた課題の改善を行うか』を意識して取り組むことが必要である。今後は、P(計画)を「予算要求」又は「予算執行計画」のいずれかに位置づけ実践を深めて行くが、校内の共通理解・次年度の方向性確認・目標の設定が的確できるよう進めていきたい。また、予算分析は、情報交換も含め継続して実施することで、甲州市全体の課題や改善策を検討し課題解決へと繋げていきたい。

### (2) 山梨支会

年度当初に予算分析を行うことにより見えてくる課題点について、各校の取組だけでなく、全小中学校で具体的な取組を進める必要がある。改善の案を出し合って、次年度予算へ反映できるよう限られた予算を最大限に活用できる方法を探っていく必要がある。また、部会の最後に情報交換の時間を設けているが、日々の事務処理の疑問等の他、今年度は各校の「入学説明会(事務の部分)」資料を見ながら情報交換を行った。今後も情報交換から課題解決の糸口を見つけられるよう研究を進めていきたい。

### (3) 全体として

各市教育委員会の協力を得て、「教育財政の実態」調査を継続して行っている。市町村合併により、現在は甲州市と山梨市の2市の教育財政を前年度と比較している。2市の教育行政の重点・取組方法が異なるため、その特徴を調査の創意工夫により、わかりやすく周知していくことができるよう、今後も努めていきたい。また、環境整備の実態を確実に把握し、より良い教育環境の充実を図っていきたい。

## III 成果物

### 1 甲州支会

- PDCAサイクルを取り入れた予算要求のあり方【着目点】
- 予算分析調査(分析表・試算表・分析グラフ)
- 切手受払簿

### 2 山梨支会

- 学校配当予算分析表、学校配当予算一覧表、学校配当予算・決算一覧表
- 財務会計マニュアル(改訂版)
- 教育委員会関係提出書類一覧表
- 市事務担当者会との連携

(部長 三枝 真由美)